

自分の課題と向き合きましょう

期末テストが終わりました。今日からテスト返しも始まっていると思います。返却された答案用紙、点数だけを見て一喜一憂していませんか？ どこが、どのような理由で、出来ていたのか、間違っていたのか、なぜ手も付けられなかったのか…など、その内容を自分で評価して、次の行動へつなげてください。見つめてほしいのは、今の状態と、これから踏み出すべき方向です。

あまり生産的ではないのが、他者との比較です。「〇〇さんよりはよかった」「△△さんには負けた」では、自分自身の次に繋がっていきません。〇〇さんより点数が高かったとしても、その科目の内容に対する理解が不十分であれば、自分が生きていく上で力となる知識になっていないのですから。

そして、もう一つ考えてほしいのが、「こんな科目（内容）勉強しても意味がないから、分からなくても気にしない」というような思考パターンになっていないか、という点です。この思考パターンは「勉強する意味が分からないので、学校を休む」というものとも共通しています。（無意識の内にかもしれませんが）自分の課題から逃げて現状に留まるための方便として使われる際の言い回しです。分かってもらうためには時間と労力をかけて自分で取り組まなければならないわけですが、「勉強しても意味がない」という理由を考えて、「分からない状態を肯定している」ように見受けられます。分からない自分を認めたくないのかもしれませんが、努力しても分からなかったときのことを考えて前に踏み出せないのかもしれません。酸っぱいブドウの論理とも似ています。学校へ行く気がしないときは、「勉強する意味を分からせてくれない（自分以外の）誰か」のせいにしたいいものです。

このコロナ禍でも、さまざまな基準を他者に求める声を聞きます。外出の基準、他県へ移動する基準、消毒の基準、手洗いの基準…。私たちの周りには多くの基準が示されています。たしかに、私たちが始めて経験するウイルスへの対処方法などは、専門家が示してくれる基準が頼りですし、大きな拠り所となります。こうした基準を全てクリアしながら生活するのはなかなか難しいのですが、健康を守るために可能な限り取り組んでいます。ただ、その一方で、こうした基準に従うことで、心のどこかに、万一何かあったときに「あの基準を守っていたのにどうしてくれるんだ」という、責任転嫁とまで

は言わないまでもそれに似た叫びを、予め装填させているような気がしてなりません。そして、これが昂じてくると、他者への眼差しが「みんなと同じように行動しなさい」という同調圧力を帯びたものになっていくようにも思います。

話が広がりすぎてしまいましたが、私たちは、とにかく自分の状況を周囲の環境や他者のせいにして、自分自身が向き合わなければならない課題から逃げてしまいがちだというようなことがいいたかったわけです。人生は誰かに与えられるものではなく、自らの手で導き出していくものなのですから。

降水量ってどんなイメージですか？

気象庁では、顕著な災害を起こした自然現象について名称を定めており、7月9日に、7月3日から続いている豪雨を「令和2年7月豪雨」と命名しました。九州南部をはじめとして各地で甚大な被害が生じました。

大きな被害を受けた場所のひとつ、熊本県南部の人吉市に気象庁が設置したアメダスの数値を見ると、7月3日から9日までの1週間に記録された降水量の合計は、799.0mmでした。これは、平年（過去30年の平均）の7月1か月の降水量471.4mmの約1.7倍です。年間の降水量は2390.0mmですから、1年間の約3分の1の量の雨が、たった1週間で降ったことになります。ちなみに、前橋の年降水量は、1248.5mmです。

7月4日には299.0mmを記録しました。ところで、みなさんは、1日の降水量約300mmをどのようにイメージしますか？ 貯めれば30cmとなる量ですから、相当なものであると感じられるとは思いますが、実感が湧きますか？

降水は、地面という面に降り注ぎますので、是非一度、面積を伴って考えてみてください。畳（たたみ）をイメージしてください。一畳のサイズは、約182cm×91cmが一般的です。ですから、畳半分は1㎡よりも一回り小さいのですが、便宜的に1㎡としましょう。この広さのところに水を1リットルこぼすと、1mmの雨が降った状態になります。大きなペットボトル（2リットル）の水を畳半分にこぼすと2mm。300mmの雨というのは、大きなペットボトル150本分に相当します。6本入りのケースなら25ケース。それだけの水が、1日で畳半分のところにこぼれ続けるのです。

数字も、考えようによってはイメージしやすいものになります。梅雨ももうしばらく続きそうです。ところで、自分が住んでいる自治体のハザードマップ、見たことありますか？